

日本の中のアメリカ

愛知県立新城東高等学校本郷校舎	青 山 浩 幸
名古屋市立長良中学校	浅 井 真 樹
稲沢市立千代田小学校	伊 藤 芳 輝
木曽川町立木曽川中学校	伊 與 田 恵 美
西尾市立西尾小学校	小 島 克 視

はじめに

本年4月から、総合的な学習の時間が完全実施され、各校で国際理解教育の実践も行われている。その多くは、AETによる英会話指導であったり、食や遊びなど、日常生活の一面をとらえた内容であったりする。

今回、実際にアメリカ合衆国を訪れる機会を与えていただくことになった。そこで、この研修の中で、日米両国の相手国に対する印象や理解度を、様々な角度から調査することで、日本と大変かわりの深い米国への理解を深め、国際理解教育の実践を構想していく上での、視点を探っていく一助としたい。

日常生活の中にみる日本

今回の研修旅行を通じて、アメリカの日常生活の中で、日本的なものが浸透していることを感じさせる場面を数多く見かけることができた。その中でも印象的だった2つの点について紹介する。

<食文化> どの都市でも見かけるのはやはりお寿司屋さんである。どの店も繁盛しているようで多くの人にぎわっている様子だった。また、家庭でも寿司を楽しむ人も増えているようで、スーパーには海苔やガリ、たまり醤油にわさびと一通りのものはそろっていた。

また、緑茶のボトルも売っていた。しかしながら蜂蜜と朝鮮人参で味付けされていて、我々が飲む緑茶とは別の飲み物だった。サンフランシスコでは、コンビニで日本のお菓子や醤油味のカップヌードルなどを売っていたりしてアメリカの食文化の多様さを感じた。



< コンビニには柿の種が >



< 様々なお寿司用の食材 >



< サンフランシスコの寿司屋 >